

グローバル社会で活躍する子どもたちのために

# 新しい英語教育について



平成26年10月7日(火)  
さいたま市教育委員会

## 課題の確認

- 1 「新しい英語教育」の導入による他の教科等への影響
- 2 「新しい英語教育」を国よりも先行・拡大して実施する理由

# 1 「新しい英語教育」の導入による他の教科等への影響

## 学習指導要領における「総合的な学習の時間」の目標

- ①横断的・総合的な学習や探究的な学習を通すこと
- ②自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成すること
- ③学び方やものの考え方を身に付けること
- ④問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育てること
- ⑤自己の生き方を考えることができるようにすること

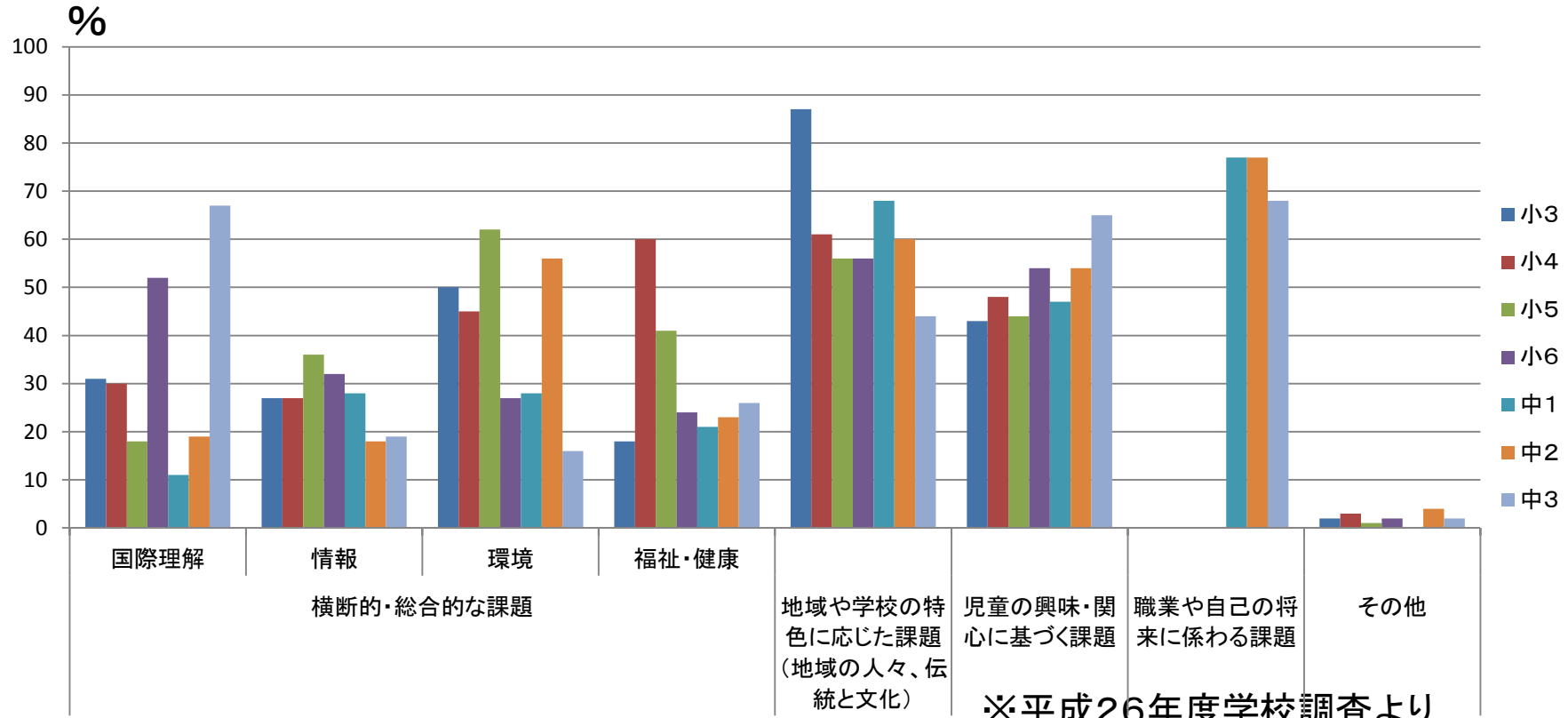


電話でインタビュー



グループで発表

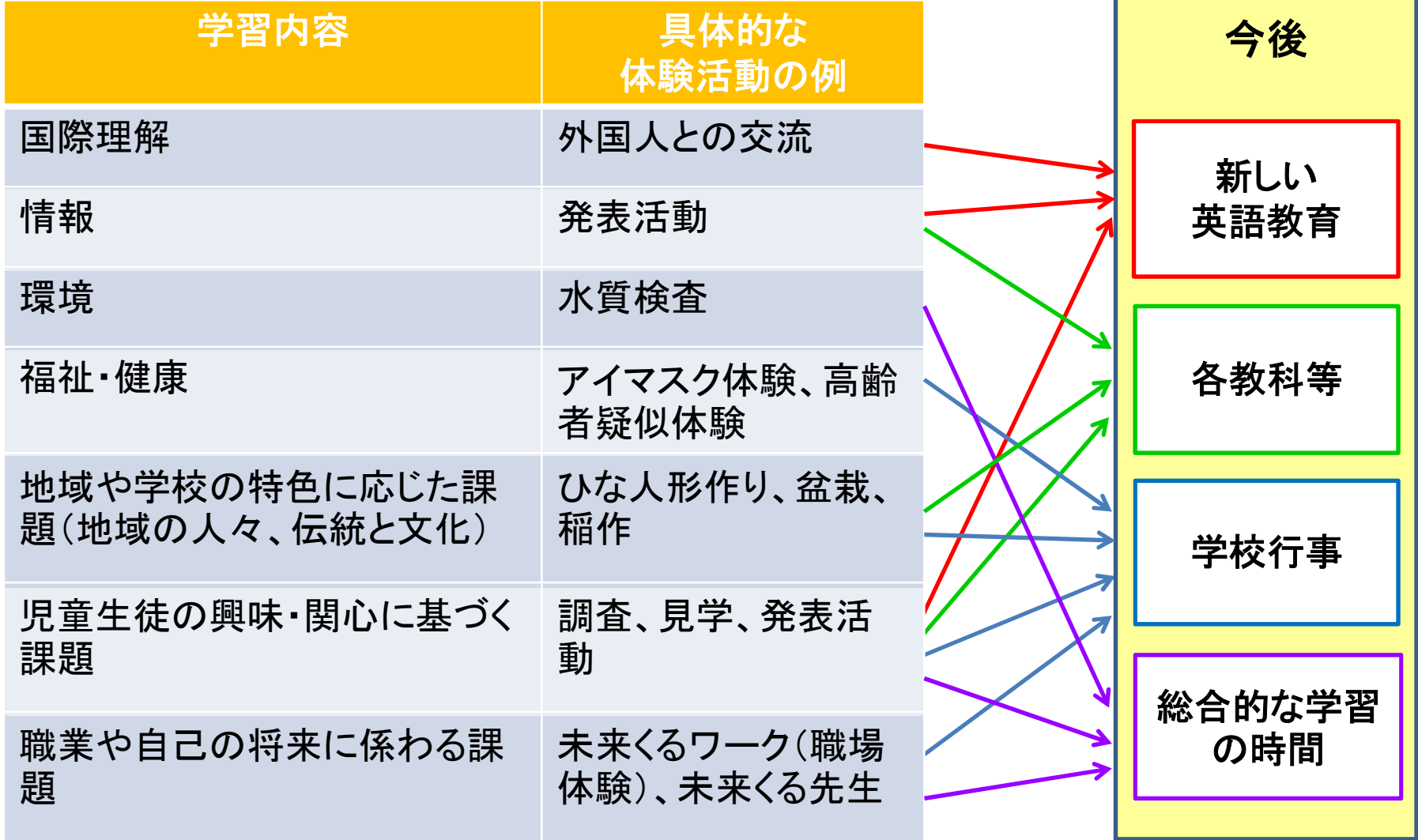
## さいたま市における「総合的な学習の時間」の学習内容



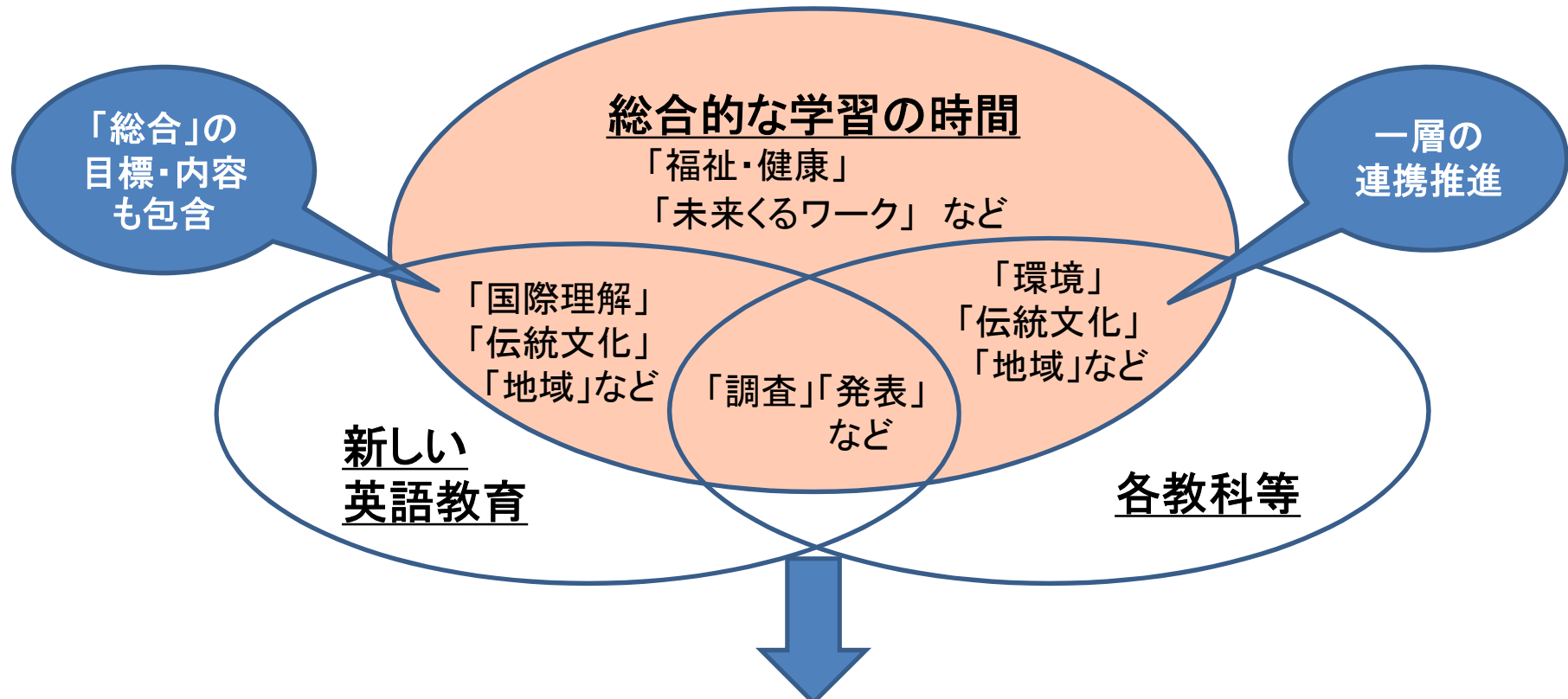
各学年の学習内容は、各教科や行事等との関連がある。

- 小3、中1で「地域」「伝統と文化」が多い。
- 小4で「福祉」が多い。
- 小5、中2で「環境」が多い。
- 小6、中3で「国際理解」、小6で「伝統と文化」が多い。

# 体験活動の実施の工夫



## 今後の「総合的な学習の時間」



- ・「総合的な学習の時間」を質的にも量的にも十分確保
- ・「新しい英語教育」との連携により、発展的な学習が可能

# 新しい英語教育の例

## 第4学年 単元名「おいでよ！ワールドバザーへ」(4時間)

| 1時間目   | 2~3時   | 4時間目   |
|--|--|--|
| 1 あいさつ、ウォーミングアップ等<br>2 目標表現の導入<br>国の仲間で集まろう<br>一人一枚国旗カードを持ち、その国のあいさつを言いながら、仲間を探す。<br>“Hello.”“ニーハオ。”“Ciao.”“ゲーテンターク。”...<br>3 ワールドバザーの準備をする<br>A: May I help you?<br>B: I'd like a _____, please.<br>A: Here you are.<br>B: Thank you. | 1 あいさつ、ウォーミングアップ等<br>2 ワールドバザーの準備をする<br>A: How much?<br>B: It's 500 yen.<br>A: Discount, please.<br>B: O.K. It's 400 yen.<br>A: Good price. I'll take it.<br>B: Here you are. Thank you. | 1 あいさつ、ウォーミングアップ等<br>2 ワールドバザーを行う<br>店員: 国の言葉であいさつ<br>客: あいさつ<br>店員: May I help you?<br>客: I'd like _____, please.<br>店員: How about this one?<br>客: Good. How much?<br>店員: _____ yen.<br>客: O.K.<br>店員: Thank you. Here you are. |

ALTと楽しく  
会話する。  
[コミュニ  
ケーション]

ALTの出身国を入  
れ、外国を身近に  
感じさせる。  
[国際交流]

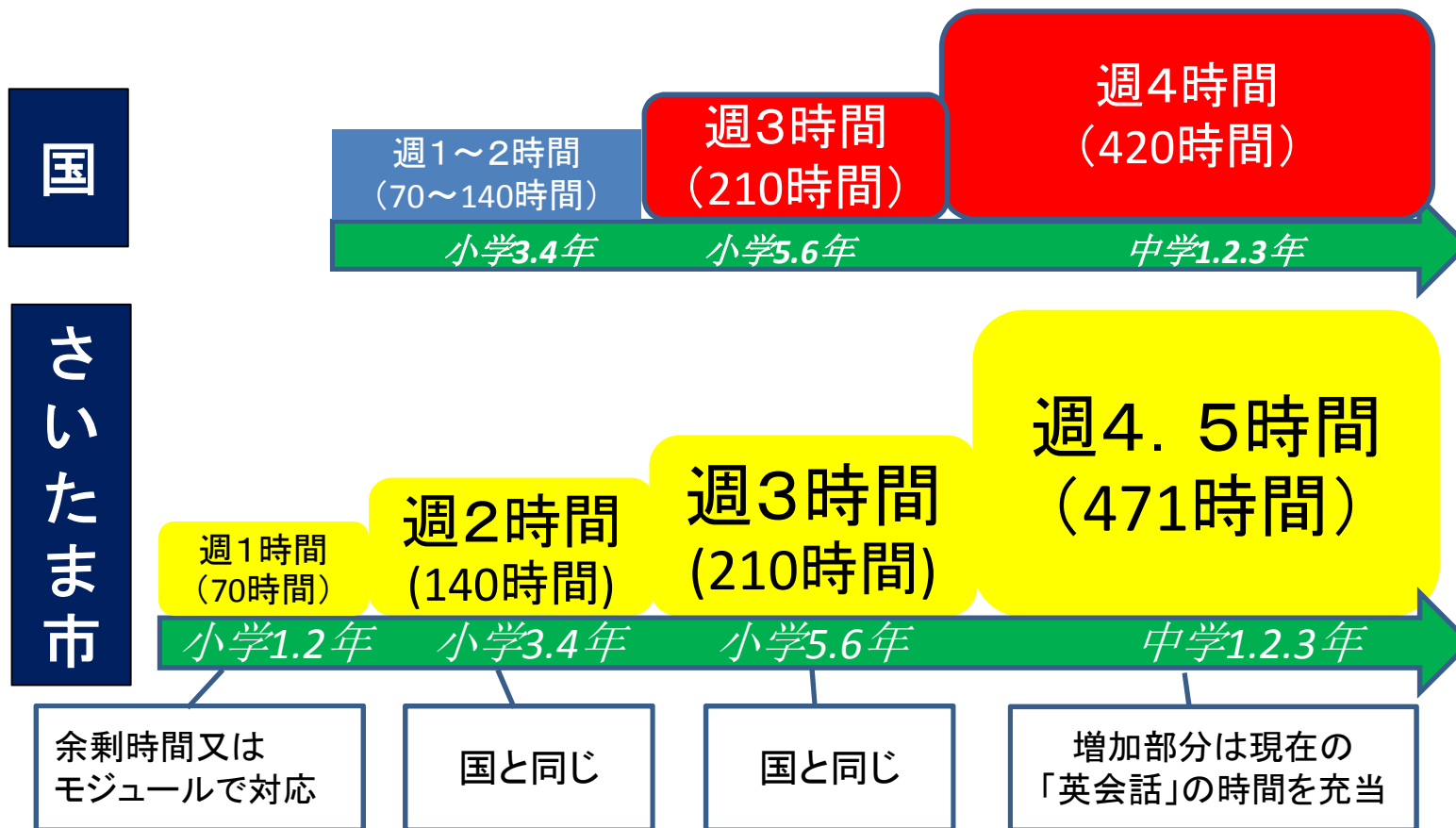
様々な国につい  
て理解し、尊重  
する。  
[多文化共生]

外国のお店では、その国  
らしいものを取り入れる。  
[異文化理解]

日本のお店の場  
合、日本らしいも  
のを取り入れる。  
[伝統文化]

平成28年度告示予定

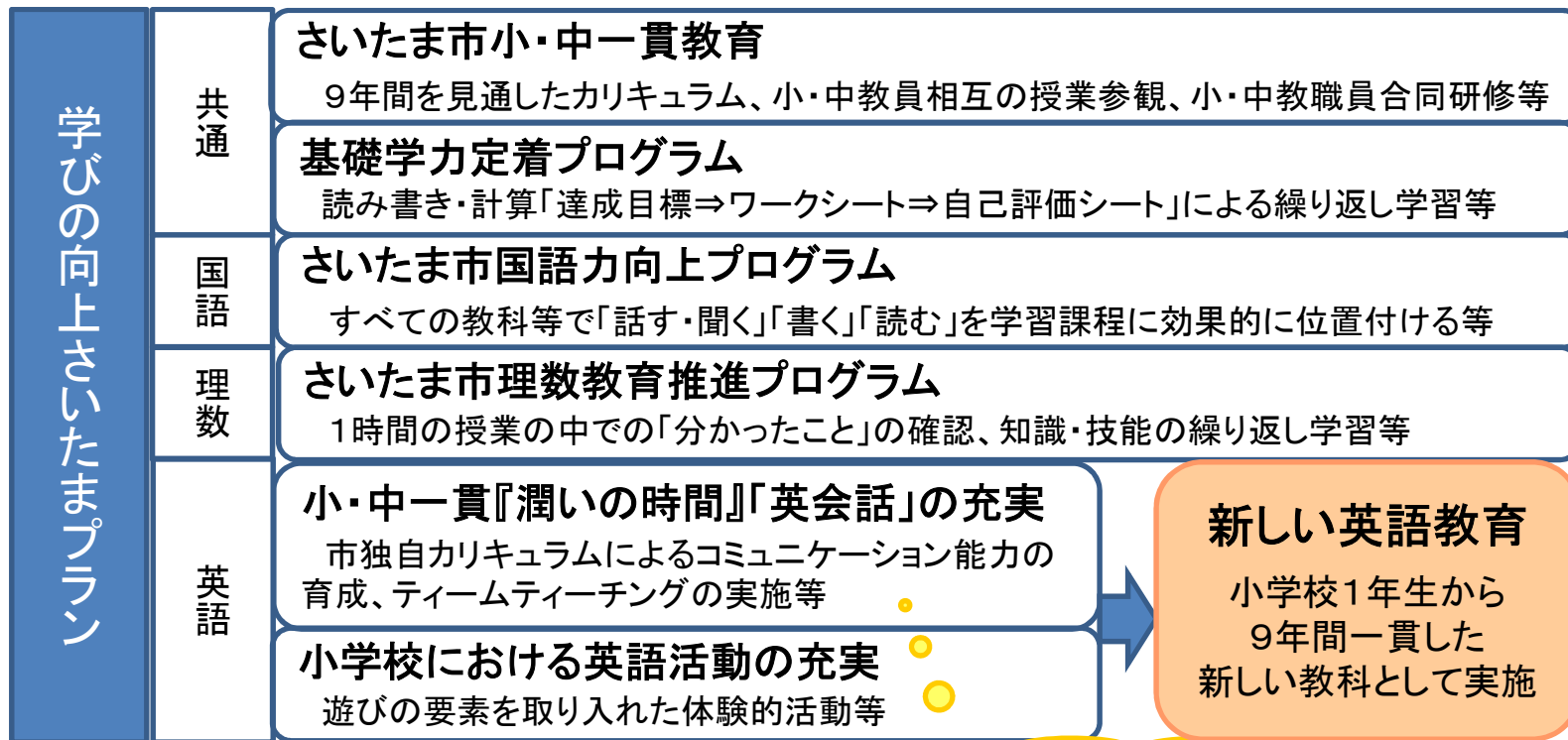
## 学習指導要領の改訂による英語の時数



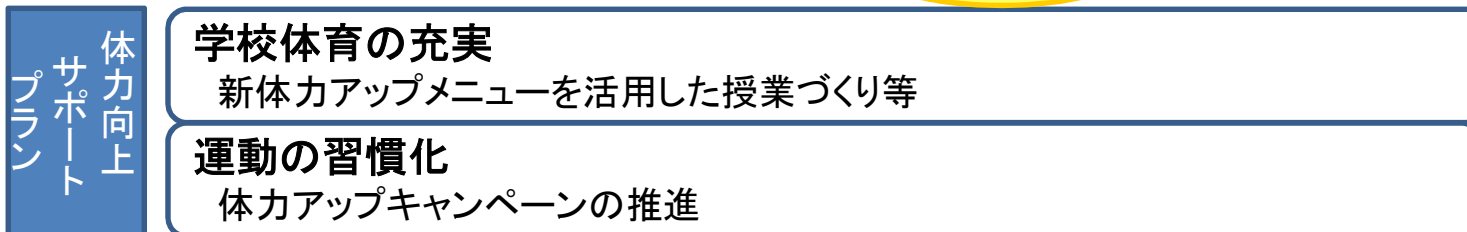


## 2 「新しい英語教育」を国よりも先行・拡大して実施する理由

### 各教科等における改善・充実の取組



・英語の授業との連携不足  
 ・「使える英語」になっていない  
 等の課題



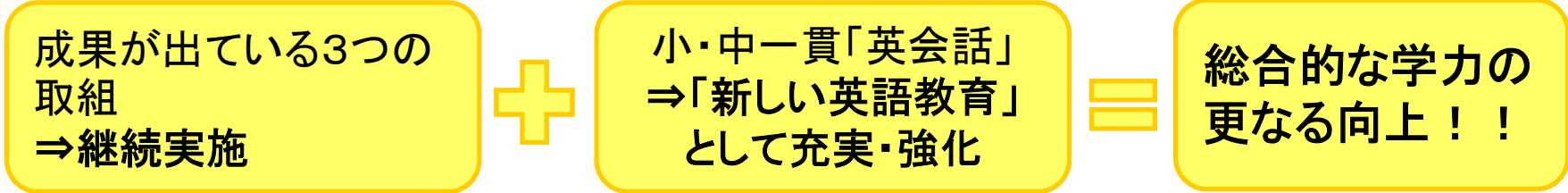
平成17年度～「学びの向上さいたまプラン」重点事業

- 国語力向上プログラム
- 理数教育推進プログラム
- 基礎学力定着プログラム

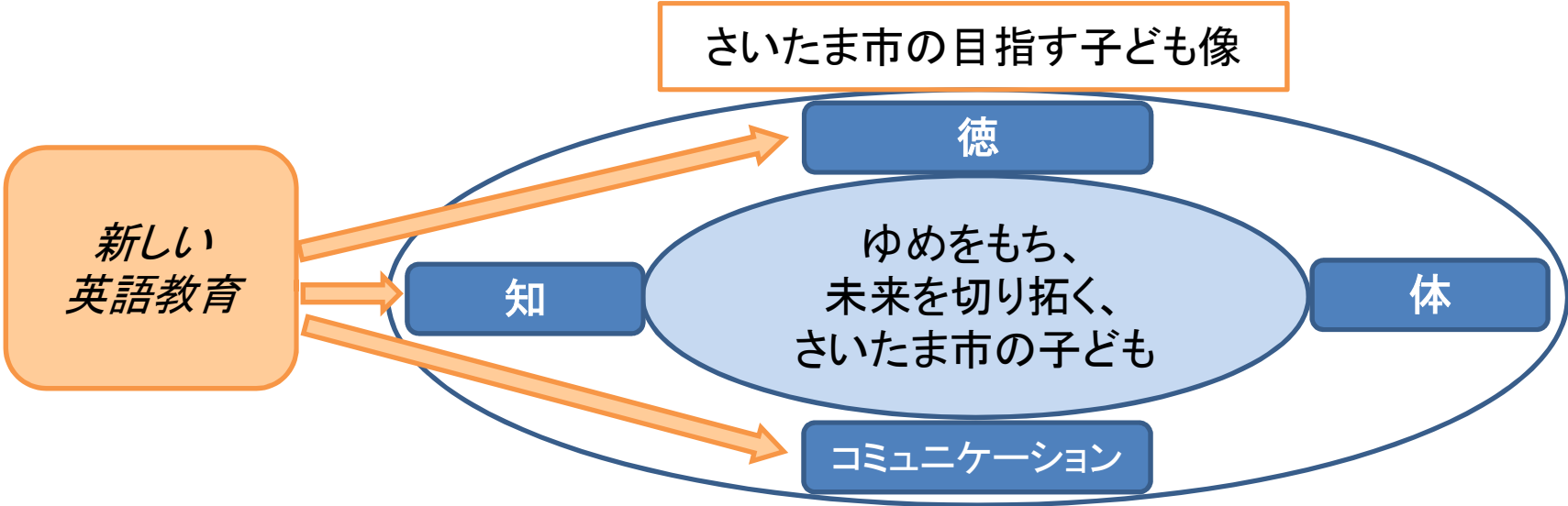


| 教科    | 小学校6年生         |                |                |                | 中学校3年生         |                |                |                |
|-------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
|       | 国語A<br>(基礎・基本) | 国語B<br>(活用)    | 算数A<br>(基礎・基本) | 算数B<br>(活用)    | 国語A<br>(基礎・基本) | 国語B<br>(活用)    | 数学A<br>(基礎・基本) | 数学B<br>(活用)    |
| さいたま市 | 74.2<br>(+1.3) | 58.2<br>(+2.7) | 78.5<br>(+0.4) | 60.8<br>(+2.6) | 82.0<br>(+2.6) | 55.9<br>(+4.9) | 70.8<br>(+3.4) | 64.0<br>(+4.2) |
| 全国    | 72.9           | 55.5           | 78.1           | 58.2           | 79.4           | 51.0           | 67.4           | 59.8           |
| 埼玉県   | 72.5           | 55.5           | 76.9           | 57.8           | 79.4           | 51.5           | 66.2           | 59.3           |

平成26年度 全国学力・学習状況調査「教科に関する調査」の平均正答率 ( )内の数値は全国との比較

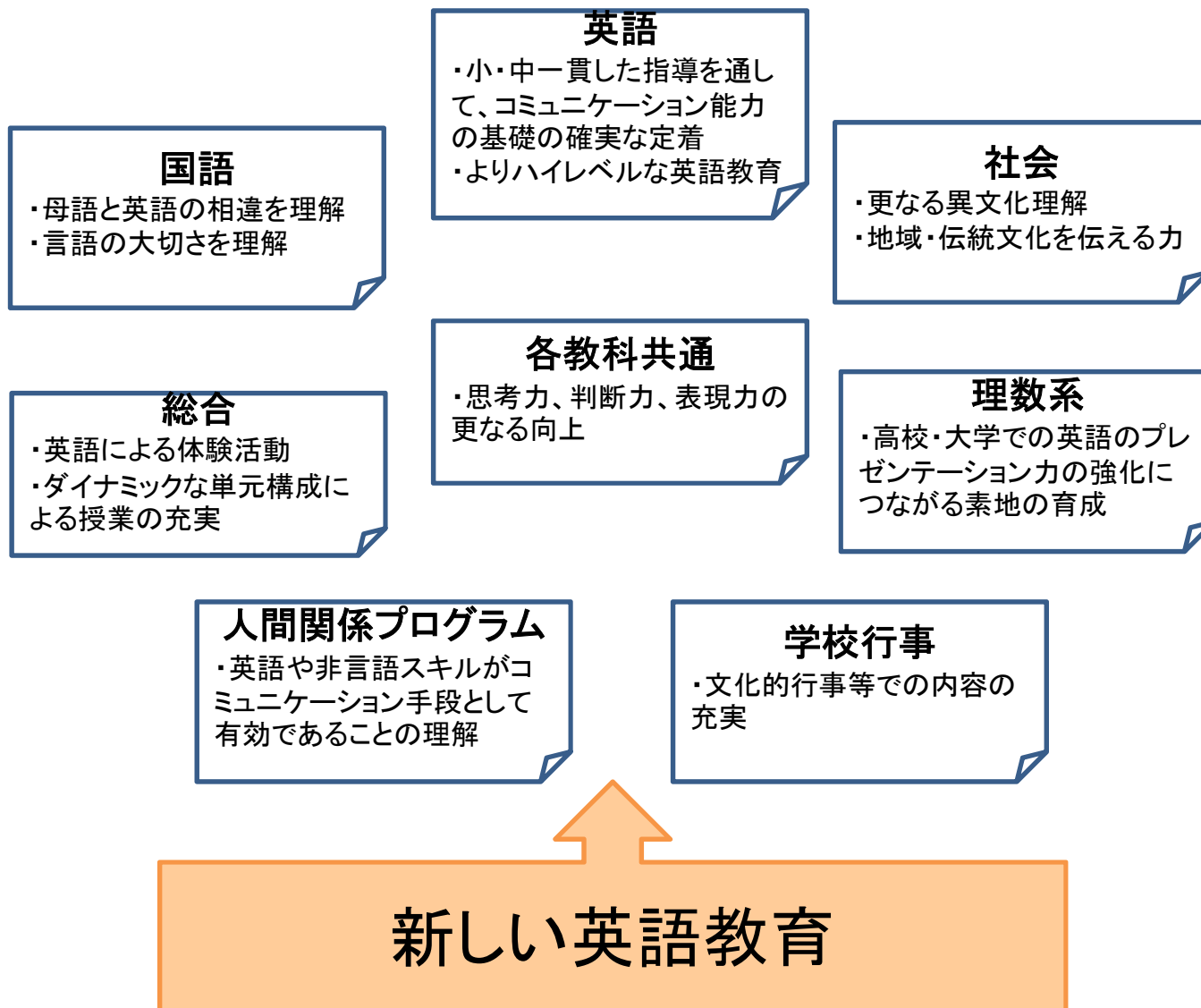


さいたま市学校教育ビジョンと新しい英語教育



「知」の充実はもちろん、「徳」・「コミュニケーション」にも大きな効果

# 各教科等へのプラスの効果



# さいたま市の教育～日本一の教育都市へ～

